山師

つげ幻象

膝の荷の濡れ六月のバス遅々と
百本の日矢をのせゆく青葉潮
草に浮く鴉の羽根や白雨来る
夕立過ぐ音楽室のはなやぎて
星数ふけふ二匹目の蚊を殺し
山師来て蛍の夜を壮語せり
良き夢を見よと蛍に送らるる
白雲の大きく割れて蟬時雨
ドロップの最後に薄荷秋初め
秋暑し夜のあをきとも黒きとも